日本医療機能評価機構認定病院
# 那珂川病院だより
VOL.59 平成27年1月
〒811-1345 福岡市南区向新町2丁目17-17
TEL.092-565-3531（代）
FAX.092-566-6460
http://www.nakagawa-hp.com
（携帯電話でもご覧いただけます）

病院理念 ― 思いやりそして努力　奉仕そしてよろこび

## 地域医療による幸福感

那珂川病院　院長　下川 敏弘

新年あけましておめでとうございます。

昨年の平成26年は那珂川病院、というより社会医療法人喜悦会にとって大切な年でした。二日市中町病院が3月末に仲間入りし、オレンジハウス清和が10月に開設されました。年末の忘年会は初めて喜悦会の忘年会を開きました。職員のみなさんと関係者の方々に改めて心より感謝いたします。

那珂川病院は地域に根ざした医療を目標に設立当初より救急医療に取り組んで参りました。医療情勢の変化に伴い、療養病棟から緩和ケア病棟、回復期病棟も併設として参りました。少子高齢化の波がしばらくは続きますが、その後には人口減少が現実のものとなってきます。社会情勢に合わせて医療・介護サービスは提供されるものですが、地域の要望や国の方針に左右されます。

東日本大震災の原発事故から化石燃料による発電に中心が移りましたが、実際は原発再稼働など言語道断という意見もあれば、その化石燃料輸入による貿易赤字はどうなるのかといった意見もあります。高齢化に伴う社会保障費の増大に対して消費税を5%から8%に上げたのに景気が後退しては何にもならないと10%を延期する羽目となりました。消費税増税などもってのほかだという意見に対しては、では1000兆円を超える国の債務はどうなるのかという反論が出てきます。多数の対立する観測と意見の中で物事は進行していきます。

灘黒岩水仙郷

では、医療機関としての当院の関与についてはどのようなものがあるのでしょうか。よくいわれる言葉に「安心・安全を提供する」というものがあります。また、「健康と幸福」というのもあります。私としては最後の幸福「感」を最優先させたいと思っています。安心・安全・健康の先にあると思われるからです。まずは安全を提供したいと思いつつ危険を承知で行わなければならないのが医療です。採血１つでも針を刺すことが必要ですし、副作用のない薬剤など皆無といってもよく、ましてや手術など危険の塊です。だからといって安心を捨てて不安になっても仕方のないことです。不安は人の心を停まらせるものです。正しい情報を得て納得すれば霧消していきます。

健康食を食べていれば安心という人もいますが、健康食といってもそれだけを食べていればいいというものはありません。毒物や汚染物でない限り食べ物に罪はなく食べ方で健康にもなれば不健康にもなれます。よく、何を食べたらいいですかと聞かれますが、何を食べても実はいいのです。食べ方が問題なのです。作法ではなく調理法や食事量です。

地域の患者さんたちが当院を利用していただくことで納得した人生を送られることの一助となれば当院の存在価値はあると思っています。健康や病気や怪我などで疑問や不満などがありましたらお尋ねください。少しでもお役に立てればと思います。これほど戦争もなく犯罪も少なく文化的な社会にあって、人の役に立つ仕事を行わせていただいている那珂川病院は幸せだと感じています。

今年は、那珂川病院だけでなく、社会医療法人喜悦会もよろしくお願い申し上げます。

# 当院の緩和ケアに求められるもの

緩和ケア専従医　原口　勝

当院では、緩和ケア病棟・緩和ケア外来・在宅ケアの形態で緩和ケアを提供しています。緩和ケア病棟が空いていない場合や、緩和ケア病棟を望まれない入院もあり、その場合には一般病棟で診療を行うことがあります。

平成25年度には、1年間で399件の緩和ケアの依頼がありました。その内訳を表に示します。

❶～❸は、ほとんどの方が今すぐの入院を希望されている状況です。

❹は、今すぐではないけれども、やがて入院を希望される状況です。

❺❻は、自宅で過ごしたいので入院は望んでおられませんが、自宅での生活が困難になったり、家族の介護疲れのために一時的に入院されることがあります。

❼は、外来通院を希望されていますが、通院が困難になった場合にはほとんどの方が緩和ケア病棟に入院され、一部の方が在宅ケアに移行します。

❺のように在宅ケアを受けている方が、入院できるベッドを確保するために相談に来られます。ベッドが確保できていることで、安心して在宅ケアを受けることができるのです。

このように当院では、病状や身体機能やどこで療養したいかという希望に応じて、適切に緩和ケアを提供しています。

| | |
|---|---|
| ❶ 他院に入院中だが、緩和ケア病棟に転院したい | 153（38%） |
| ❷ 当院の一般病棟に入院中だが、緩和ケア病棟に移動したい | 23（ 6%） |
| ❸ 他院または当院に通院中だが、緩和ケア病棟に入院したい | 44（11%） |
| ❹ 将来の入院に備えて面談を受けておきたい | 49（12%） |
| ❺ 他院の在宅ケアを受けているが、自宅で過ごせなくなった時は入院したい | 31（ 8%） |
| ❻ 当院の在宅ケアを受けたい | 19（ 5%） |
| ❼ 緩和ケア外来で経過をみてほしい | 80（20%） |

## 緩和ケア病棟施設概要

**病　室**

全病床24床で全室個室です。
室料あり 7室、室料なし 17室

**その他の設備**

食堂・談話室、ファミリーキッチン、家族控室（宿泊可・有料）、面談室、説明室、介護浴室、一般浴室、洗濯コーナー

**緩和ケア病棟へのご入院について**

- 主に、治癒が望めないと判断された悪性腫瘍の患者さんをケアします。
- 患者さんまたはご家族が病名・病状について理解していることが入院の条件です。
- 体調が安定したら、外泊したり、退院して緩和ケア外来に通院したり、在宅ケアを受けることもできます。

## 緩和ケア外来・相談のご案内

緩和ケア外来を受診される方や入院の相談や見学を希望される方は、必ず電話予約をお願いいたします。

**● 電話受付時間**

**平日 9：00～17：00　TEL 092-565-3531（代）**

連携室の看護師かMSW（相談員）が対応します。

**● 緩和ケア外来**

**受付時間（予約制）**

**月・火・水・木　14：00 ～ 16：30**

外来通院での緩和ケアを行います。緩和ケア病棟退院後の診療も行います。

**入院費について**

医療費は、健康保険制度による給付割合に従った料金です。
高額医療給付制度の適用があります。

# ボランティアだより

今回は音楽と美味しいお茶を提供してくださる、『鐘ヶ江さん・田籠さん』をご紹介します。

毎週火曜日14：30～16：00、４階談話室では鐘ヶ江さんのピアノと素敵な歌声が響いています。談話室に来られた患者さん・ご家族には、田籠さんの美味しいお茶が振る舞われます。

鐘ヶ江さんがボランティアをされるきっかけとなったのは、高校生の時ご入院中のお母様のために歌った歌を、お母様だけでなく周りの患者さんにも喜んでいただけたことだとうかがいました。音楽で何かのお役に立てればと鐘ヶ江さんはおっしゃいます。

田籠さんはお茶屋さんで働いておられた経験を生かし、美味しいお茶を入れてくださいます。「妹はお水も飲めないけど、田籠さんのお茶だけは飲めるんですよ」と田籠さんのお茶を楽しみにしておられる方もいらっしゃいました。

鐘ヶ江さんと田籠さんの心のこもったおもてなしで、談話室に和やかな時間が流れます。

当院緩和ケア病棟では元来行われている「健康教室」に引き続き『末期がんになったらどうする？』と題して地域の方々、医療者に向けて緩和ケアの勉強会を昨年９月より全６回で開催しています。残り２回となりましたが「がんについて勉強したい！」と思われている方、緩和ケアやボランティアに興味のある方も、ぜひご参加ください。

### ●【末期がんになったらどうする？】

| 期　日 | テーマ・講師 |
|---|---|
| 平成27年<br>1月17日（土） | 『社会的援助・チームアプローチ』<br>講師　訪問看護師主任　松下徳代<br>管理栄養士　林田由美子<br>ソーシャルワーカー　橋本理絵 |
| 2月21日（土） | 『ボランティアとは』<br>講師　福岡ホスピスの会　神谷佳子 |

**会場**／那珂川病院・５階研修室
**時間**／11:45～12:45
**問い合わせ**／ボランティアコーディネーター　山下 公子（ひろこ）

## クリスマス会

患者さん指導による皿回しの実演

ハンドベルの演奏

スタッフによる踊り「恋するフォーチュンクッキー」

寸劇 八女ちゃん

# 日本下肢救済・足病学会 九州沖縄地方会学術集会の開催報告

社会医療法人喜悦会　那珂川病院　血管外科
NPO法人足もと健康サポートねっと
竹内 一馬

この度、平成26年10月11～12日に福岡市内の「JR博多シティ JR九州ホール」において、第3回日本下肢救済・足病学会九州沖縄地方会学術集会ならびに市民公開講座を主催させていただきました。学術集会は423名の参加（関係者を含むと約550名の参加）、市民公開講座は延べ1300人を超える一般市民の来場があり、盛会で終えることができましたので、ここにご報告させていただきます。

まず学会のことを簡単に紹介したいと思います。本学会は、糖尿病や下肢血流障害などが原因による壊疽や下肢切断の救済・回避・治療と、それらに関わる問題を積極的に取り上げる場として平成21年5月に設立されたまだ若い学会です。単一診療科の医師だけでなく、足に関わる糖尿病科、循環器科、血管外科、形成外科、整形外科、皮膚科、腎臓内科（透析科）、リハビリテーション科、看護師、義肢装具士、理学療法士、靴屋などの多くの診療科・職種が参加しているのが特徴です。九州・沖縄地方会は北海道についで2番目に発足した地方会で、今回、3回目を迎えました。

準備から当日まで（終了後も）、那珂川病院の理事長、院長、事務スタッフ、院内フットケアチーム、NPO法人足もと健康サポートねっとのメンバーをはじめ、学会事務局長である上村哲司先生（佐賀大学形成外科 診療教授）、九州各地区のフットケア指導士などにお支えいただけましたことを有り難く思いますとともに、感謝の気持ちでいっぱいです。

本大会が九州・沖縄地区における下肢救済医療の発展に貢献し、医療従事者のみならず、足に関わるさまざまな業種に対しても、知識・技術の普及・促進に繋がり、各医療機関などの連携が拡がるきっかけになればと切に願っております。

また、那珂川病院にとっても大変良い機会を与えていただいたと思っています。超高齢化社会の中、足（脚）にトラブルをもった方は今後も増えることが予想され、国として地域として対応していくことが急務です。那珂川病院がその一部でもお役に立てたことは、南区・福岡市のみならず九州地区の地域貢献に繋がったのではないでしょうか。これらのことを喜びにそして糧として、今後も頑張っていきたいと思います。

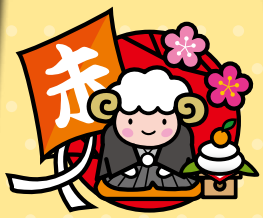
# ……オレンジハウス清和のご紹介……

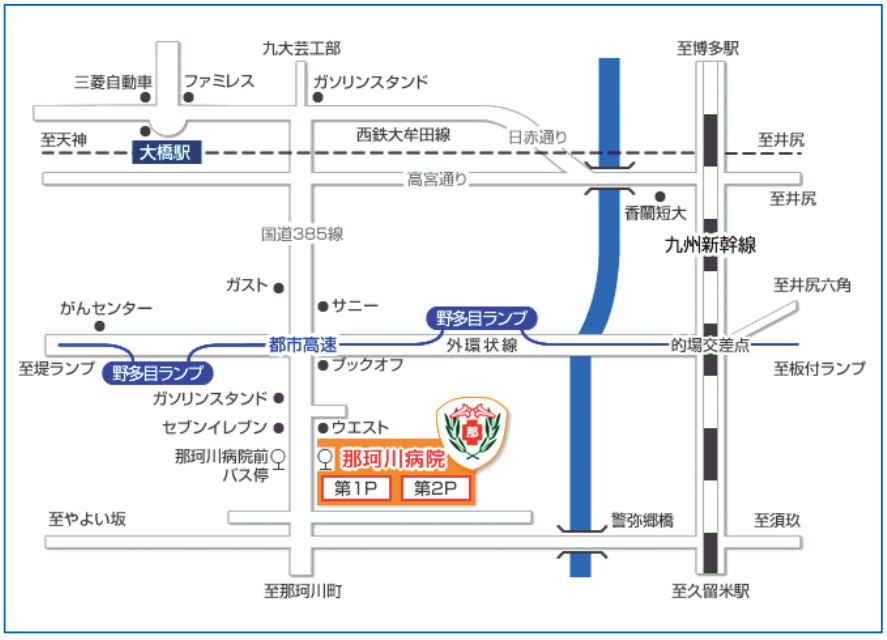
昨年10月1日にオープンして、3ケ月が過ぎました。おかげさまで入居者は徐々に増加中です。デイサービスも、入居者や近隣の方々からご利用いただき、毎日楽しく過ごしていただけるように、職員一同一丸となって取り組んでおります。

当施設の売りは、明るい、楽しい、食事が美味しい、お風呂がきれい…といったところでございます。

皆様一度、見学やデイサービス体験に、オレンジハウス清和へぜひお越しください。

**オレンジハウス清和　管理者　鬼塚 俊二**






【交通】西鉄バス系統番号4番・47番・62番・620番「那珂川病院前」下車すぐ　■駐車場150台

## 常勤医師診療担当表

| 医師名 | 担当領域 |
|---|---|
| 下川　敏弘（院長） | 外科・呼吸器外科 |
| 大内田　敏行（副院長） | 放射線科 |
| 吉村　寛志（副院長） | 外科・消化器外科 |
| 大国　貴史 | 外科・漢方内科 |
| 古賀　健資 | 外科 |
| 熊澤　浩明 | 外科・消化器外科 |
| 福永　昌幸 | 外科・麻酔科 |
| 古賀　善彦 | 外科・リハビリテーション科 |
| 齊田　光 | 整形外科 |
| 竹内　一馬 | 血管外科・循環器内科 |
| 宮脇　龍一郎 | 内科・循環器内科 |
| 筒井　伸一 | 内科・消化器内科 |
| 安藤　智恵 | 内科・循環器内科 |
| 藤澤　正寿 | 内科・腎臓内科・人工透析 |
| 原口　勝 | 外科・緩和医療 |
| 犬塚　貞明 | 外科・緩和医療 |
| 月江　教昭 | 循環器内科・緩和医療 |

平成27年1月1日現在